

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

7月26日（水） 日報【実績】	内 容
現場復旧の状況	<p>○108号室（汚染事故発生箇所）の現場復旧に向けた措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フード*1（H-1）内の物品をフード外に搬出し、除染を開始しました。 ※ 作業内容の詳細は、 <ul style="list-style-type: none"> ➤ フード（H-1）の汚染検査・除染作業及び整理作業 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/072101.pdf をご参照ください。 *1 フード；非密封の放射性物質を用いた実験などを行う場合に、作業員及び環境への放射性物質による汚染等を防止するための局所排気装置。
原因究明の状況	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料研究棟の貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続して行っています。8月前半を目途にその結果を取りまとめ、今後の貯蔵容器の点検方法等の対策の検討に反映する予定です。 <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核燃料物質と混合したエポキシ樹脂の放射線（アルファ線）分解によるガス発生現象に関して、長期間の挙動を模擬するため、分解による樹脂の重量減少と密閉状態での内圧変化の測定を継続して行っています。8月下旬までに得られたデータを、樹脂製の袋の内圧上昇の評価に反映する予定です。
被ばく評価の状況	<p>○被ばく評価（バイオアッセイ協力他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質の摂取に至った要因事象の調査のため、108号室内で採取したスミヤロ紙のSEM（走査電子顕微鏡：Scanning Electron Microscope）観察を、照射燃料集合体試験施設（FMF）において行っています。 ・また、上記要因事象の調査のため、作業員が装着していた半面マスクの汚染測定のための搬出準備作業を行いました。

<p>その他 (外部対応など)</p>	<p>○外部対応</p> <ul style="list-style-type: none">・原子力規制庁と定例面談を行い、以下の事項について説明しました。<ul style="list-style-type: none">➤ フード（H-1）内外の放射線計測用分析試料の採取について➤ フード内物品のフード外への搬出及びフード内の除染作業の実施状況について➤ 照射燃料集合体試験施設（FMF）における SEM 観察の実施状況について➤ 半面マスクの搬出準備作業の実施状況について
-------------------------	--